

平成23年度 学校経営の改革方針

三重県立朝明高等学校

目指す学校像（基本理念）

「将来を見通し、生徒が自らの成長を実感できる学校」の創造
教育指針「時を守り、場を清め、礼を正す」

現状と課題

- 1 インターンシップを始めとした進路指導に力を注いでいるが、進路選択に係る能力不足が見られる生徒の現状から、教育活動総てにおいて「キャリア教育」の充実を図り、生徒が目標を持って学校生活を送れるよう、環境の醸成と生徒の育成が求められている。
- 2 人権に係る理解や認識については教育の成果が見られるものの、今後は、人権を守る実践行動のできる力を育む必要がある。また、協同・共同を意識した質の高い「学級づくり」について取り組む必要がある。
- 3 基礎学力養成のために朝学や学び直しに係る実践等を行っているが、学習に対して積極的になれない生徒、自信が持てない生徒が多く見られる。そのため授業力向上につながる「授業改善」に取り組み、生徒の基礎学力を伸ばすための授業研究を日常的に行う必要がある。
- 4 社会規範の遵守、挨拶の励行、正しい言葉遣い等、社会人として通用する「社会人基礎力」の養成が求められている。
- 5 カウンセリング、特別支援教育校内委員会など、個に応じた指導や校内体制の整備等により、課題を抱えた生徒に対応できるよう更なる取り組みが必要である。
- 6 福祉コースでは平成22年度介護福祉士国家試験に9名合格、アスリートコースでは全国大会に出場するクラブ等、それぞれ成果を上げているが、他のコースにおいても特色を発揮できるような取り組みが求められている。

中長期的な重点目標

- 1 キャリア教育及び人権教育の充実を図り、生徒一人ひとりが目標を持って進路希望の実現を目指す環境を醸成する。
- 2 教師自身が自己の教育力向上を目指し、授業研究・公開授業・指導法の改善を積極的に行い、学校組織としての教育力を高められるよう「授業改善」の取り組みを進める。
- 3 規範意識の醸成、基本的生活習慣の確立を基盤とした生徒の指導を徹底することにより、地域から信頼される学校づくりを推進する。

本年度の行動計画

「時を守り、場を清め、礼を正す」を朝明高等学校のあらゆる教育に係る取り組みの指針とする。

- 1 キャリア教育及び人権教育の充実を図ることで、生徒一人ひとりがいきいきとした学校生活を送り、目標を持って進路希望の実現をめざす。

【キャリア教育】

- (1) 18年間を見通した「育ちのプログラム」及び発達段階に応じた学びを重視し、保幼小中との連携によるキャリア教育を推進する。
 - (取組状況の指数：保幼小中との連携に係る会議を月1回開催する)
 - (達成状況の指数：年度初めと年度末に生徒対象アンケートを実施し、向上したとする回答が80%以上)
- (2) 生徒の学力や進路希望、学習習慣などを把握するため「基礎力診断テスト」を実施し、生徒への正確な情報提供及びアドバイスにより生徒個々の目標設定と学力の向上を図る。
 - (取組状況の指数：基礎力診断テストと学校評価アンケートの実施)
 - (達成状況の指数：アンケートで「目標を持っている」と回答する生徒が75%以上)
- (3) 各教科指導においてコミュニケーション能力の向上、言語活動の充実に係る取り組みを実施する。
 - (取組状況の指数：協同学習等における「学び合う集団づくり」)
 - (達成状況の指数：教職員対象研修会でのアンケートで「スキルが身に付いた」とする回答が80%以上)

【人権教育】

- (1) 人権尊重の視点に立った教育活動及び人権感覚あふれる学級づくりを推進する。
 - (取組状況の指数：人権教育に係る教職員対象の研修の実施)
 - (達成状況の指数：いじめ件数ゼロ)
- (2) Q-U検査を実施し、クラス内のよりよい人間関係づくりを推進する。
 - (取組状況の指数：「学級づくり」に係る教職員対象の研修の実施)
 - (達成状況の指数：学校評価アンケートにおいて「学校生活は楽しい」とする回答が85%以上)

【教育相談】

- (1) 生徒理解を深め、生徒の進路意識の向上を図るため、全教職員による教育相談を充実する。
 - (取組状況の指数：生徒全員を対象とした個別面談の3回以上の実施)
 - (達成状況の指数：学校評価アンケートにおいて「相談する」との回答が75%以上)
- (2) 教育相談の充実により不登校の未然防止及び不登校生徒の減少に努める。
 - (取組状況の指数：生徒支援に係る教職員対象の研修の実施)
 - (達成状況の指数：事後のアンケートにおいて「スキルが身に付いた」とする回答が80%以上)

2 教師自身が自己の教育力向上を目指し、授業研究・公開授業・指導法の改善を積極的に行い、学校組織としての教育力を高められるよう「授業改善」の取り組みを進める。

【授業改善】

(1) 「わかる授業」から「できる授業」への転換を図り、生徒が主体的に学ぶ場を創造する。

(取組状況の指数：基礎力診断テストと家庭学習時間調査の実施)

(達成状況の指数：基礎力診断テストで1ランクアップ、家庭学習時間調査結果で1日2時間以上学習する生徒10%以上)

(2) 教科指導力を向上させるため、「授業改善プロジェクト」を充実させ、指導力の高い教師集団を目指す。

(取組状況の指数：異校種等の公開授業への参加と研究授業の実施)

(達成状況の指数：学校評価アンケートにおいて「授業満足」とする回答が75%以上)

(3) 校内における教員相互の授業参観を日常化するとともに授業参観強化週間を設定し、教員一人ひとりの教育力を高める。

(取組状況の指数：日常的な授業参観と授業参観強化週間の実施)

(達成状況の指数：学校評価アンケートにおいて「指導方法等が工夫されている」とする回答が75%以上)

3 規範意識の醸成、基本的生活習慣の確立を基盤とした生徒の指導を徹底することにより、地域から信頼される学校づくりを推進する。

【規範意識】

(1) 生活規律・授業規律の定着を図り、授業マナー・ベル席運動等を推進する。

(取組状況の指数：生活規律・授業マナーの徹底)

(達成状況の指数：学校評価アンケートで「服装・頭髪マナーが良くなった」とする回答が80%以上)

(2) 自立性や社会性を身につけさせるため、挨拶の励行を推進する。

(取組状況の指数：挨拶運動の励行)

(達成状況の指数：学校評価アンケートで「挨拶はできている」とする回答85%以上)

(3) いじめや暴力のない学校づくりを推進する。

(取組状況の指数：LHR、学年集会等での集団指導の実施)

(達成状況の指数：いじめゼロ。学校評価アンケートで「暴力のない学校づくりに取り組んでいる」とする回答75%以上)

【基本的生活習慣】

(1) 基本的生活習慣の確立及び学習意欲の向上を図るため、「早寝、早起き、朝ご飯」の運動を展開する。

(取組状況の指数：「早寝、早起き、朝ご飯」運動の実施)

(達成状況の指数：遅刻・早退・欠席数の前年度比10%削減と学校評価アンケートで「朝ご飯を食べている」との回答85%以上)

【学習環境】

- (1) 生徒会活動、学校行事、部活動をより活性化させ、特に部活動では県高校総体等への出場数や部活動実質活動率を向上させる。
(取組状況の指数：学校行事の工夫と生徒の主体的な活動・部活動の充実)
(達成状況の指数：学校評価アンケートで「学校行事に満足」とする回答が 90 % 以上、部活動実質活動率 50 % 以上)
- (2) 朝の読書や朝の学習を継続し、落ち着いた学習環境づくりを推進する。
(取組状況の指数：朝の読書、朝の学習を継続)
(達成状況の指数：「朝の読書」「朝の学習」における効果の検証)
- (3) 清潔な教育環境で学習ができるよう掃除の徹底を図り、校内美化に努める。
(取組状況の指数：校内美化運動、ボランティア活動等の実施)
(達成状況の指数：学校評価アンケートで「環境美化に取り組んでいる」とする回答が 85 % 以上)
- (4) 全校で事故ゼロ運動を実施し、交通安全の徹底を図る。
(取組状況の指数：交通安全教室等による啓発活動の実施と教職員の巡視による安全指導)
(達成状況の指数：生徒の交通事故に係る件数、昨年度比 10 % 以上削減)